

産山村立産山学園
学 園 便 り

わだち

令和2年6月19日 第10号

豪雨から身を守るために 水難避難訓練

平成2年、平成24年の九州北部豪雨では、熊本県、そして産山村も大きな被害を受けました。

過去の経験を教訓にし、豪雨から大切な命を守るために、6月17日(水)、水難避難(引き渡し)訓練を行いました。



「大雨の状況を想定して危機意識をもって訓練に臨むようお願いします」防災主任の富永先生は、全職員にそう伝えました。各担任は、訓練の目的や富永先生の話をもつて全学園生に伝えました。

そして、引き渡し訓練開始。子供たちは静かに三密を避けて、地区ごとに集合。安心メールを見られた保護者の方の車が、学園に設けられた誘導路に次々に並んでいきます。原田先生がダッシュボードに置かれた送迎カードを確認し、マイクで子供さんの名前を読み上げます。名前を呼ばれた子供たちは、

静かに、速やかに車に乗り込みます。記録係の職員は、「引き渡し」が完了すると名簿に印を付けます。

子供たち、職員及び保護者の三者が協力して、真剣に訓練に取り組めたこと。ご協力に御礼申し上げます。

村上 拝



よりよい学園づくりをめざして 第1回委員会活動！

先週行われた職員と委員長の合同ミーティングを受け、6月18日(木)に第1回委員会活動が行われました。

よりよい学園づくりは、5つの委員会(学習図書、生活体育、保健給食、放送、環境)と執行部が、それぞれに責任をもって活動することで実現します。

特に、委員長、副委員長や書記を務める9年生・8年生の果たす役割は大きいです。年間活動計画や活動内容について、丁寧に説明する委員長、説明を真剣に聴く5年生以上の委員の姿に、学園の明るい未来を感じました。

今村 拝

